

相模原市生涯学習・社会教育関連年表

昭和27年11月	相模原町教育委員会発足（庶務係、学務係、社会教育係、指導室）
昭和32年11月	市立体育館設置
昭和33年4月	社会教育課設置
昭和39年4月	市立図書館設置（市民会館内） 青少年課設置
昭和41年4月	視聴覚ライブラリー設置
昭和43年4月	青年の家設置
昭和47年4月	体育課設置
昭和49年11月	市立図書館新築開館、視聴覚ライブラリー同館内へ移転
昭和52年8月	教育委員会事務局の組織改編により、社会教育部を設置
昭和54年4月	図書館相武台分館設置
昭和56年11月	総合体育館設置
平成2年1月	相模大野図書館設置
平成2年4月	相模原市社会教育目標制定
平成3年9月	北総合体育館設置
平成4年10月	図書館と公民館図書室をオンライン化
平成5年3月	生涯学習推進基本計画を策定
平成5年4月	社会教育部を生涯学習部に、体育課をスポーツ課に改称 生涯学習課設置（社会教育課と併設）
平成7年11月	博物館設置
平成9年5月	総合水泳場設置
平成9年11月	相模原市民ギャラリー設置
平成10年7月	青年の家廃止
平成11年4月	青少年学習センター設置
平成12年4月	社会教育課が生涯学習課と統合、課内室として文化財保護室を設置
平成13年9月	橋本図書館設置
平成18年3月	津久井生涯学習センター設置(平成9年4月に津久井町生涯学習センターとして設置)
平成18年4月	総合学習センターが組織改編により、教育総務部へ移管。 総合学習センターの公民館支援担当が生涯学習課公民館支援チームとなる。 文化財保護室が文化財保護課となる。
平成19年4月	生涯学習課所管の文化芸術関連事務、相模原市民ギャラリー、青少年課、青少年学習センターが組織改編により、市長部局へ移管。
平成21年4月	生涯学習課の各チームが組織改編により、企画班、公民館支援班、公民館管理班となる
平成22年4月	旧津久井町地域の教育課を組織改編により、教育班とする
平成24年4月	生涯学習課の企画班、公民館支援班が組織改編により、企画支援班となる
平成25年4月	生涯学習課の公民館管理班が組織改編により、公民館施設班となる
平成26年4月	生涯学習課の城山・津久井・相模湖・藤野教育班が組織改編により、廃止となる スポーツ課が組織改編により、津久井地域班を設置
平成30年4月	生涯学習課が組織改編により、複合施設調整班を設置 総合学習センターが組織改編により、生涯学習センター、教育センターとなる
平成31年4月	生涯学習課の企画支援班が組織改編により、総務企画班、公民館支援班となる
令和2年4月	生涯学習課が組織改編により、複合施設調整班を廃止し、計画推進班を設置
令和3年4月	スポーツ課所管のスポーツに関する事務(学校における体育に関する事務を除く。)が 組織改編により、市民局へ移管。スポーツ課を廃止し、スポーツ推進課を設置

* 参考・引用文献

相模原市教育史 第5巻別編	相模原市教育委員会	平成2年2月28日発行
公民館活動のてびき	相模原市教育委員会	平成3年3月3日発行
公民館改革関係資料集	相模原市教育委員会	平成15年7月発行